

お知らせ

■発行:医療法人青木会 ■発行人:青木悟
■編集者:臼杵壮志 ■編集:広報委員会
■内容に関するお問い合わせは地域連携室まで
TEL:048-423-0293

第3回 青木事例発表会開催！！



2月14日に青木中央クリニックで、当法人における事例発表会が開催されました。7題の発表の中、最優秀賞に輝いたのは②の**青木中央クリニック看護部 看護補助**でした！

【概要】現在ベッド上で、オムツと安価で持ちやすくてたっぷりなお湯を流すことが出来るペットボトルを利用し作成したシャワーボトルで洗髪を実践している。準備・後片付けで生じていたタイムロスが減らし、日に数名の洗髪が可能となり、清潔ケアの提供回数を増やす事が出来るようになった。また、患者さんも無理な姿勢や移動する必要もなく、ベッド上で清潔ケアを受ける事が出来るようになった。清潔が保たれ、悪臭予防にもつながっている。鏡をみた患者さんから笑顔がこぼれ、私たちは達成感を得ている。

どの発表も日頃のサービスの中での前向きな取り組みがみられるものでした。今後も患者様・利用者様・ご家族様・職員の全てに嬉しい取り組みを検討していきます！

演題一覧

- ① 青木中央クリニック看護部 看護師「クリニカルパス導入による業務改善と病棟看護師の不安の変化」
- ② 青木中央クリニック看護部 看護補助「自力で清潔保持の出来ない患者さんに対するの洗髪援助への工夫」
- ③ 青木中央クリニック 通所リハビリセンター「情動療法による芸術の可能性と実践」
- ④ 青木中央クリニック リハビリテーション科「自宅退院に向けての取り組みと課題」
- ⑤ リハビリの家北浦和「クックチル方式導入後の成果と課題」
- ⑥ 訪問看護リハビリステーションあおぞら・リハビリの家西浦和「訪問リハビリとロコモーターによる自主トレの必要性について」
- ⑦ さいたま青木・リハビリの家東浦和・青木リハビリセンターさいたま・訪問看護リハビリステーションあおぞら「施設退去後に在宅生活援助を行った高齢者夫婦の報告」

基調講演 公益財団法人 鼓童文化財団 『こころとからだがヨロコブ健康習慣「エクサドン」』

私たちは 地域のみなさまの 良質で安心・安全な 医療・介護への求めに「技」と「心」で応え
全ての人が満足し納得できる 医療・介護を提供いたします。

あおきだより

2019.3月発行 (隔月発行)

Vol. 19

新たな時代を 迎えるにあたり

医療法人青木会 理事長 青木悟



平素より青木会にご理解、ご支援を賜っております地域の皆さま、医療・介護関係の皆さま、取引業者の皆さまには心より感謝申し上げます。おかげさまで昭和7年の青木医院の開院から87年目を迎えるに至りました。

今年の5月には元号が変わり、平成の時代が終わりを迎えます。新たな元号になることに伴い、社会にも変化が起こりそうです。医療の世界では50年で大きな変化を迎えると言われていました。100年前は感染症が大きな問題となっていました。これは新薬の開発、衛生環境の整備により克服できるようになってきました。50年前には脳卒中、悪性新生物が問題となってきました。これは高度救急医療の働き、生活習慣を見直すことで対応できるようになってきました。これからの50年は認知症が大きなキーワードになります。

2025年には高齢者の5人に1人が認知症を抱えていると予測されています。特にこの地域は高齢化のスピードが全国の中でも速く、認知症で困る方が溢れることとなります。しかし残念ながら認知症を根本から治す治療はまだ開発されていません。そこで重要なのが介護です。認知症による、いわゆる問題行動は、身の回りの方たちの「関わり方」で抑えることができるという研究がされています。認知症を患っても、その人らしい人生を送ることができるような仕組みが必要です。

青木会では今年の4月に南区円正寺にグループホームを開設します。その他にも認知症対応型デイサービス、リハビリテーションを利用していただくことで、地域の中で暮らしていくことができるような仕組みをこの1年で構築していきます。

今後とも変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今号の内容

- ・理事長挨拶「新たな時代を迎えるにあたり」
- ・健康管理のご案内
- ・あおきスタッフ紹介「訪問介護事業所 あおぞら中央」
- ・リレーコラム 第3回「グループホーム」
- ・かがや理学療法士のミニ健康教室



永年勤続者表彰式



昨年12月、勤続5年以上の職員を対象に、永年勤続者表彰式が行われ、今期は42名が対象となりました。

青木会は「笑顔」を合言葉に掲げております。地域の皆さまを笑顔にするために、職員が笑顔でいることが大切です。そのために、職員一人ひとりが長く勤めていける「笑顔」あふれる職場づくりを目指しております！

新入職員(常勤)のご紹介

青木医院

佐藤 奈美(リハビリスタッフ)
養野 理恵(事務) 田村 直子(事務)

青木中央クリニック

遠藤 啓之(運転手兼介護職) 木村 順明(事務)

リハビリの家東浦和

後藤 英明(介護福祉士) 藤木 あさ美(介護福祉士)

リハビリの家川口元郷

齊藤 晃子(事務)

リハビリの家北浦和

竹内 俊介(介護スタッフ)

定期巡回あおぞら

齋藤 光代(介護福祉士)

訪看あおぞら

内田 直樹(作業療法士)

さいたま青木

片貝 幹子(介護支援専門員)

あおぞら 中央

清野 和恵(介護スタッフ)

よろしくお願いいたします！！



青木中央クリニック

健康管理室のご案内

10:00～17:00 ※日・祝日以外対応可
TEL: 048-423-0215



私たちが
窓口です！

皆様の健康づくりを応援します！

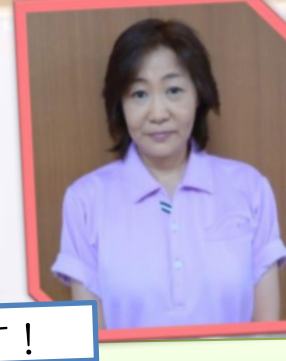
- 川口市特定健康診査・人間ドック検診、各種がん検診
- 各種健康診断（企業様向け健診：労働安全衛生法規則対応、必要に応じた内容でのオーダーメイドも可能です。）
- 青木健診：気軽にお受けいただけるセットです。
- 青木ドック：胃カメラ、超音波検査も実施します。
- 青木ゆっくりドック：宿泊し、より高度な検査を実施します。

お気軽にお問い合わせください！



今号では「訪問介護事業所 あおぞら中央」の職員をご紹介します！





体を張って頑張っています！

★サービス提供責任者
名前…藤原 知子
出身…栃木県
趣味…漫画を読む事
一言…皆様と楽しい時間を過ごして行きたいと思います。

★サービス提供責任者
名前…堂山 ひとみ
出身…埼玉県
趣味…ゴルフ
一言…頑張りますので、よろしくお願いします。

”情報トピックス”

第3回 コラG 「グループホーム」

活気ある毎日を送りましょう



みなさん、こんにちは。リハビリの家北浦和の蓮實と申します。

リハビリの家北浦和で勤務をしながら、ここ最近「開設準備室」の業務が本格的に慌ただしくなってきました。というのも、今年の4月1日にさいたま市南区円正寺に青木会で最初の「グループホーム」がオープンするからです。そこで、今回はよく耳にする「グループホーム」って一体何？といった内容でお送りしたいと思います。

まず、グループホームには、2つの特徴があります。

- ① 認知症の症状が出ている高齢者が、専門スタッフのサポートを受けつつ、少人数で共同の生活を行う施設
- ② これまでの住み慣れた地域で、継続して生活することができる施設

①については認知症の診断があることが入居の条件にあり、認知症に患いながらも症状や能力に応じて役割を担い、自立した生活を目指すための施設となっています。

②については地域に根付いたサービスとして、施設所在地と同じ地域に住民票があることが、入居の条件となっており、地域との連携も施設運営の条件となっています。

今後、2025年、2040年問題（あおきだよりVo12）の少子高齢化や、認知症患者の増加について地域で支え合う社会の構築が間違いなく必要になってきます。グループホームは、「認知症になっても自分が住んでいる地域で安心して生活ができる施設」として、地域包括ケアシステム（あおきだよりVo6）の一端を担っています。

グループホーム「あおきさん家 浦和南」さいたま市南区大字円正寺519—6
【 4月1日 】オープン 入居相談、スタッフ随時受付中！！
内覧会：3月28日（木）、29日（金）、30日（土） 各日13時～17時

かがや理学療法士の 三二健康教室

ストレッチ ～第1弾～

毎日少しずつでも
続けることが大切です！

『アキレス腱 ストレッチ①』

【やり方】

- ① スタートポジション
足を前後に開き、壁（手すり）に手をつく
- ② ゆっくり体重を前方へかけ
アキレス腱（ふくらはぎ）をストレッチ



【Point】

- ・伸ばしたい足のつま先と踵が同じ方向を向くようにする
- ・踵が浮かないようにする
- ・反動をつけず、ゆっくり伸ばす

『アキレス腱 ストレッチ②』

【やり方】

- ① スタートポジション
つま先を段差（階段）にかける
- ② ゆっくり膝を伸ばし、
アキレス腱（ふくらはぎ）をストレッチ



【Point】

- ・反動をつけず、ゆっくり伸ばす
- ・お尻が引けないように

青木医院
理学療法士 加賀屋 奈緒

